

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用の前にこの説明書と同封のブレーカ取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。この説明書は、必ず保管してください。

### 安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。  
なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

	<b>危険</b>	死亡または重傷を招く差し迫った危険な状況を示します。
	<b>注意</b>	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

- 注意する
- してはいけない
- 必ず守る

### ■保管上のご注意

注意	
	高温、多湿、じんあい、直射日光、腐食性ガスなどの雰囲気中で長時間保管しないでください。筐体が劣化し破損するおそれがあります。
	梱包状態で保管してください。発熱・火災のおそれがあります。

### ■施工前の確認事項

※施工前にアルコールを含ませた布などで母線を清掃し、表面を清浄にしてください。  
また、配電盤が「配電盤取付寸法」(P.2)のとおりであることを確認してください。

危険	
	i plug を取り付けける配電盤には、弊社指定の部品を使用してください。感電・火災のおそれがあります。
	上位ブレーカなどを <b>OFF</b> 状態にして、母線が充電していない状態にしてください。短絡事故・感電のおそれがあります。

### ■施工上のご注意

危険	
	母線や端子部に触れないでください。短絡事故・感電のおそれがあります。
	母線が充電している状態で i plug を母線から引き抜いたり差し込んだり、取付ねじを緩めたりしないでください。短絡事故・感電のおそれがあります。

注意	
	無断で修理、改造などしたことにより生じた事故については、一切責任を負いません。
	高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃などの異常環境に設置しないでください。感電、火災や動作しないおそれがあります。
	DC (直流) には使用しないでください。対応しておりません。
	電気工事は、有資格者（電気工事士）が行ってください。
	配線作業は、上位ブレーカを <b>OFF</b> にし、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。
	ごみ、コンクリート粉、鉄粉、虫などの異物および雨水などが製品内部に入らないように施工してください。火災や動作しないおそれがあります。
	本体の定格にあった電源に接続してください。不動作および故障のおそれがあります。
	電源側と負荷側の表示のあるものは、表示のとおりに正しく配線してください。火災や故障のおそれがあります。
	配線は適合した電線や銅バーを使用してください。不要動作および火災のおそれがあります。
	電線の接続は、各極の端子に電線が平行に接続されるように、事前に電線を成形した上で端子ねじを確実に締め付けてください。また、ブレーカの端子に電線の重量が過度に加わらないように、電線を固定してください。短絡事故・感電のおそれがあります。
	インバクトドライバーなどによる過大な力が遮断器に加わらないようにご注意ください。破損の原因になります。
	i plug は、i plug 取付ねじで確実に配電盤に取り付けてください。i plug の脱落・けが・火災・過熱・ブレーカの不要動作のおそれがあります。
	i plug の取付け・取外し作業および搭載されたブレーカへの配線作業は、i plug に搭載されたブレーカおよび上位ブレーカを <b>OFF</b> またはトリップ状態にし、電気がきていないことを確認して行ってください。感電・けが・火災のおそれがあります。

### ■使用上のご注意

危険	
	母線や端子部に触れないでください。短絡事故・感電のおそれがあります。
	母線が充電している状態で i plug を母線から引き抜いたり差し込んだり、取付ねじを緩めたりしないでください。短絡事故・感電のおそれがあります。
	i plug に搭載されたブレーカの電源側端子カバーは、外さないでください。短絡事故・感電のおそれがあります。

注意	
	保守・点検は、専門知識を有する人が上位ブレーカを「 <b>OFF</b> 」にし、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。
	自動的に遮断した場合は、原因を取り除いてからハンドルを <b>ON</b> にしてください。火災のおそれがあります。
	i plug 接触子からリングバネが外れていないか確認してください。発熱・火災のおそれがあります。

## ■適用機種

シリーズ	極数	AF	i plug		適用機種		端子台
			PL タイプ	PH タイプ	サーキットブレーカ	漏電ブレーカ	
協約形	3P	50	○	○	NE53C,CX	GE53C,CX	TBF-063JK
			○	○	NE53CHX	GE53C,CX	
経済形	3P	60	○	○	NE63C,CX	GE63C,CX	TBF-063J
		50	○	○	NE53A	GE53A	
		60	○	○	NE63A	GE63A	TBF-153J
		100	○	○	NE103A	GE103A	
		150	○	○	NE153A	GE153A	TBF-253J
		225	○	○	NE223	GE223	
		250	○	○	NE253	GE253	

### ご注意

ブレーカを搭載した i plug には、取付板から保護板までの高さが 81 mm の PL タイプと 125 mm の PH タイプの 2 種類あります。

## ■グリスについて

i plug 接触子のグリスが取り付けの前に蒸発・変質した場合は、次のグリスを適量塗布してください。メーカー：Electrolube 品番：2GX

### ご注意

グリスはじんあい、腐食性ガスなどの異常環境によって蒸発・変質することがあります。

## ■使用方法

### ○取り付け(右図参照)

- i plug に搭載されたブレーカを **OFF** 状態にします。
- i plug を手で持って i plug 接触子と母線の掛かりを合わせ、押し込んで i plug 接触子を母線に差し込みます。
- i plug 取付穴と取付タップ穴を合わせます。母線に差し込まれた状態で、手で i plug を動かして合わせてください。
- i plug 取付ねじ(2カ所)を⊕ドライバーで締め付けます。  
ブレーカ電源側は、i plug に取り付けられている取付ねじを、ブレーカ負荷側は取付穴に i plug 取付ねじを挿入してから締め付けてください。
- i plug と取付板の間に隙間のないことを確認します。

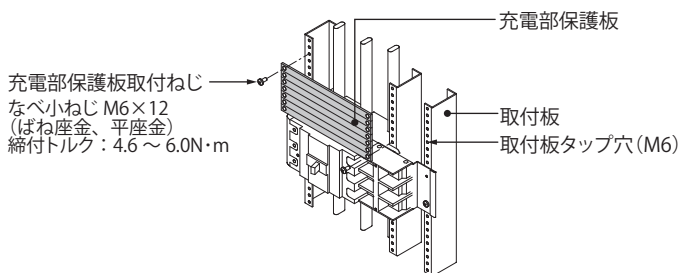
### □取り外し

- i plug に搭載されたブレーカおよび上位ブレーカを **OFF** 状態にします。
- i plug 取付ねじ(2カ所)を緩めて外します。  
ブレーカ電源側の i plug 取付ねじは、完全に緩めても i plug から脱落しない構造となっています。
- i plug を手で持って引き抜き、i plug を取り外します。

※ブレーカ同士が密着して手で持ちにくい時は、ブレーカ電源側の i plug の切り欠き部に⊖ドライバーを挿入して、てこの原理で⊖ドライバーを押してください。ブレーカ負荷側は、鉄ベースに指を掛け、引き上げてください。i plug 接触子が母線から引き抜かれます。この時ブレーカが落下しないようにブレーカを手で支え、取り外しが終わるまで離さないでください。

## ●充電部保護板の取り付け(下図参照)

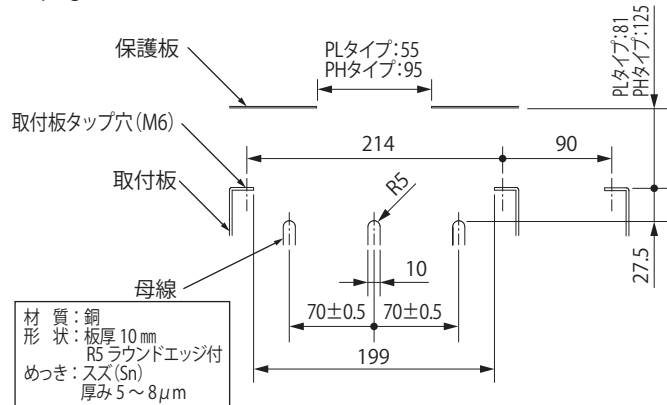
- 充電部保護板を取り付ける隙間を測ります。  
15 mm単位で幅を調整できます。(最大 105 mm)
- 充電部保護板を手で折ります。
- 折る部分の梁をニッパーまたはラジオペンチで取り除きます。
- 充電部保護板を充電部保護板取付ねじ(2カ所または4カ所)で締め付けます。



## ■配電盤取付寸法

(単位:mm)

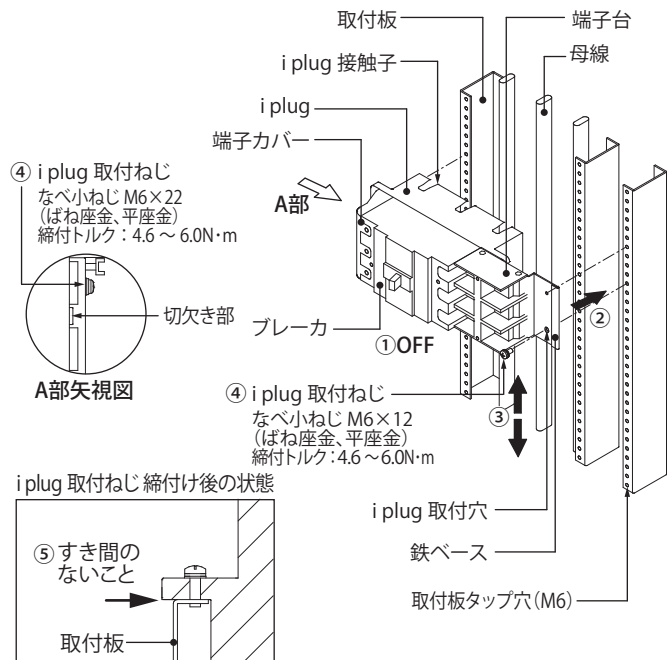
i plug を取り付ける配電盤が下図のとおりであることを確認してください。



## ■必要工具

下記をご用意ください。

使用時	共通	充電部保護板取付用
部品名	⊕ドライバー (No.3)	ニッパーまたはラジオペンチ



施工業者名	
TEL	
施工年月日	年 月 日

### お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら弊社お客様相談センターにお問合わせください。

**TEL (0561) 64-0152**

〈受付時間〉9:00～12:00、13:00～17:00(土・日・祝日は休み)

- お客様からご提供いただいた個人情報は、商品の修理やご相談への対応、および情報の提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、グループ各社と共同で利用させていただく場合があります。
- 個人情報はあらかじめ本人の同意を得ないで、第三者に提供することはいたしません。

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2025年 9月  
B599100930

**NITTO KOGYO**

©NITTO KOGYO CORPORATION

日東工業株式会社

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原 2201 番地